

令和5年

第1回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

令和5年第1回仙北市議会定例会 市政報告

令和5年第1回仙北市議会定例会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、石黒直次^{いしぐろなおつぎ}初代仙北市長のご逝去についてです。

石黒さんは、角館町^{まち}助役、角館町^{ちょう}長を務め、平成 17 年9月の町村合併では仙北市誕生を実現させ、平成 17 年から平成 21 年までは初代仙北市長として仙北市の礎を築かれました。

まだまだお元気に過ごされ、これからもご指導いただけるものと考えていただけに、ただただ残念でなりません。これまでのご功績に対し、感謝と敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

次に、新型コロナウイルス感染状況についてです。

2月に入り、県内は第8波も収まりつつある中、市内においても一日の感染者数に減少傾向が見られるものの、インフルエンザの感染者が増加している状況です。

市民の皆様には、警戒感を緩めることなく、基本的な感染対策の徹底による感染者数の減少にご協力をお願いします。

次に、新型コロナウイルスのワクチン接種についてです。

これまで、大曲仙北医師会、秋田県薬剤師会、市立病院、診療所及び在宅看護師等の医療関係者やボランティアの皆様のご協力の下で進めてきました新型コロナワクチン集団接種については、1月 31 日をもって一旦終了し、2月1日以降は個別接種で対応しています。

1月 31 日現在、接種率は、12 歳以上の接種義務のある方 2 万 4,387 人に対し、初回接種である1、2回目接種済みの方が 2 万 2,093 人の 90.6%、最終的なオミクロン株対応ワクチン接種済者は1万 4,236 人の 58.4%となっています。また、11 歳以下の小児及び乳幼児接種は、3月 13 日で終了予定ですが、対象者 1,335 人に対し、

接種率は約 30%の 400 人前後を見込んでいます。

次に、仙北市人口動態についてです。

1月 31 日現在の人口は 2 万 4,045 人で前年同月比 624 人減、世帯数は1万 398 世帯で前年同月比 77 世帯減となっております。出生数は令和4年4月から令和5年1月までで 59 人となっております。前年同時期の出生数は 71 人で、12 人減という状況です。引き続き子育て支援や若者関連施策の取組等について、積極的に情報提供します。

次に、行財政改革についてです。

行財政改革の柱である事務事業評価について、一般財源の比率が高く見直しが必要であった 107 の事業を拡充や廃止など6段階で評価し、事務事業評価結果を当初予算編成に反映させました。評価結果の詳細は、タブレットに個別のシートを掲載していますので後ほどご覧願います。

次に、一般会計補正予算(第 11 号及び第 12 号)についてです。

第 11 号の補正額は、5 億 3,993 万 4 千円、補正後の額は 230 億 3,723 万円で、追加事業はふるさと納税ふるさと便事業費、冬期交通対策費等です。ふるさと納税ふるさと便事業費は寄附金の増額に伴うもの、冬期交通対策費はこの冬の除雪出動状況、今後の降雪見込みなどから、除雪委託料等の不足が見込まれるため定例会初日の議決をお願いするものです。

第 12 号の補正額は、1 億 2,280 万 9 千円の追加で、補正後の額は 231 億 6,003 万 9 千円です。主な事業は、地籍調査事業費、生活バス路線対策費、介護保険特別会計繰出金、出産準備金給付事業費、病院事業会計補助金、低コスト技術等導入支援事業費補助金、農地集積加速化基盤整備事業費、農地中間管理機構関連ほ場整備事業費、田沢湖マラソン大会負担金などです。

第 2 表繰越明許費補正は追加、第 3 表債務負担行為補正は変更、

第 4 表地方債補正は追加及び変更です。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況を報告します。

【総務部】

◇ふるさと納税について

2月14日現在、寄附額は17億6千万円となり、過去最高額を記録しています。ポータルサイトを増やし、返礼品を寄附者目線で取り揃えたことが好調の要因と分析しています。制度のあり方には様々な議論がありますが、制度が存続する限り寄附額の増加に取り組みます。

◇田沢湖総合開発センターの一部貸付について

12月22日にタブレットにてご報告しましたが、3月13日から秋田銀行田沢湖支店が、田沢湖総合開発センターへ移転することになりました。1年程度の営業となる見込みです。

また、仙北市商工会田沢湖支所も同じく田沢湖総合開発センターへ移転することになります。商工会田沢湖支所の移転時期は3月中旬で、開発センター2階へ移転する予定となっています。なお、同一建物の田沢湖公民館の利用に関して影響はありません。

◇内陸線中村踏切について

内陸線中村踏切の1種化工事が完成し、1月31日の始発から運用されています。過去に痛ましい事故が多発していましたが、遮断機・警報器の設置により安全性が格段に向上しています。

◇住宅火災について

12月16日、角館東前郷字中関^{なかぜき}地内で木造一部2階建ての住宅が全焼しました。焼け跡から男性の遺体が見つかり、この家に住む71歳男性の方と判明しました。謹んでご冥福をお祈りします。

◇雪害事故について

12月からの積雪の増加に伴い、2月17日まで市内で除雪作業中に5件の雪害人身事故が発生し、骨折するなど4人の方が重傷との報告を受けています。今後も積雪期が続くことから、防災無線やLINE、安全安心メールでの事故防止の注意喚起を強化、継続します。

【市民福祉部】

◇マイナンバーカードの交付状況について

1月31日現在、本市のマイナンバーカードの申請率は65.59%、交付率は56.46%となっております。今年度の交付率目標値である55%は超えたものの、全国の1月31日現在の交付率は約60%、申請率は約67%になっていることから、本市でもさらなる交付率向上を目指します。

また、3月31日まで、郵便局と市役所内において申請サポートを行っています。申請がまだの方は、ぜひご利用いただきたいと思います。引き続き関係団体等への取得協力依頼など、市役所全体で取り組みます。

◇仙北市電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付事業について

電力・ガス・食料品等の価格高騰による世帯への負担増を踏まえ、低所得世帯に対し、1世帯当たり6万円を給付しました。

確認書と申請書の送付対象世帯数3,346世帯に対し、3,246世帯、97%が支給済みで、低所得世帯への生活支援となっています。

【観光文化スポーツ部】

◇令和4年入り込み客数等について

令和4年1月から12月までの年間入り込み客数の速報値は311万3,826人で、令和3年の232万2,369人に対して対前年比134.08%となりました。また、宿泊者数の速報値は合計42万5,237人で、昨年の32万4,165人に対して対前年比131.18%でした。

◇プレミアム観光支援事業等について

7月15日から開始した仙北市プレミアム観光支援事業による「田沢湖・角館まるごとお土産券」が10月31日に終了しました。予定販売枚数10万枚は完売し、利用は9万9,767枚で利用率99.8%、また宿泊者特典のお土産券プレゼントは1万枚に対し9,757枚を配布、利用は9,723枚で利用率99.7%となりました。

これにより、お土産券全体で10万9,490枚が利用され、少なくとも1億949万円以上のお土産等の消費がなされました。

◇小正月行事、冬のイベント等の状況について

「白岩城址燈火祭^{じょうしとう かさい}」、「中里の CANDY あげ^{なかざと}」、「なろか」、「どんど焼き」、「上桧木内の紙風船上げ」、「角館の火振りかまくら」は、規模の一部縮小もあり、また天候の影響も受けましたが、無事に実施されました。また、50回記念となる「田沢湖高原雪まつり」は、2月25、26日に開催予定です。

紙風船上げ、火振りかまくら、高原雪まつりでは、各実行委員会等が県補助事業を活用して打上花火を拡大して行っています。残念ながら「松葉・相内の裸参り^{まつば あいまい はだかまい}」は中止となりました。

◇第三次仙北市観光振興計画の策定期間の延長について

令和4年度末までに完成を目指していた第三次観光振興計画について、基礎調査からの現状分析、それをベースにしたワーキンググループや策定委員会での議論をより深めること、また国が3月に新しい観光立国推進基本計画を出すことが明らかになり、その内容を第三次振興計画に反映させるべきと判断したことから、完成時期を令和5年9月まで延長し、国の新計画の方針を取り込みながら観光関係者との議論を深め、観光の高付加価値化をより確実な施策として実施し、観光の活性化による市民の幸福度向上を目指します。これに伴い、事業費の繰越をお願いすることとしています。

◇仙北市総合美術展について

1月31日から2月12日まで、第11回仙北市総合美術展を開催しました。市民や市内で芸術活動をしている方162人と1団体から絵画、書、写真、陶芸など176点の作品が出品され、成果発表の場となりました。市内外から580人の皆様にご来館いただきました。

◇伝建群防災訓練について

11月27日、角館消防署・角館北地域自主防災会との共催により、伝建群防災訓練を実施しました。武家屋敷「河原田家」からの出火を想定し初期消火から延焼防止のための放水訓練を行いました。

当日は、角館伝建群保存地区の町並みを守る会や仙北市消防団第7分団の皆様の協力をいただき、地域住民の皆様が有事に際しての対応を学ぶ機会となりました。

◇伝統的建造物群基盤整備事業について

令和4年度の文化庁補助事業として、岩橋家ほか2件の板塀修景事業及び旧青柳家主屋屋根修理おもやの事業補助など、すべての事業を完了しました。令和5年度以降も、文化庁や県のご助力をいただきながら、計画的に修理・修景事業を行い、町並み保存に努めます。

◇景観形成重点地区指定に向けた意見交換会について

12月20日から22日にかけて、角館庁舎及び角館樺細工伝承館を会場に、市民・事業者から19人の参加をいただき意見交換を行いました。参加者からは、屋根の勾配や、補助金に関する意見などがありました。5年度も引き続き事業を実施し、武家屋敷を擁する角館地区について重点地区の指定を目指します。

◇スポーツ少年団の全国大会出場について

11月19日、20日、第20回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会秋田県大会が由利本荘市ナイスアリーナで開催され、仙北市

から出場した、きたうらバレーボールジュニアが女子の部で優勝し、全国大会への出場を決めました。

全国大会は、3月 24 日から 27 日まで、静岡県かけがわし掛川市とふくろいし袋井市で開催されると伺っています。選手のさらなる活躍を期待しています。

◇モーグルジュニアキャンプについて

1月 28 日、29 日、秋田フリースタイルスキー・モーグルジュニアキャンプが、たぎわ湖スキー場で開催されました。

このキャンプは、モーグル選手の発掘や育成などを目的に、県と市の共催によるもので、県内の小学生7人、中学生3人、高校生1人の 11 人が参加しました。

参加者にとっては、モーグルの元オリンピック日本代表選手や県スキー連盟の方々から基本的な滑りや実践的なターンなどの指導を受ける好機となり、未来の選手が誕生することを願っています。

◇フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会について

2月 18 日、19 日、2023 フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会が、たぎわ湖スキー場で開催されました。

全国から男子 56 人、女子 25 人の選手が出場し、2月 18 日にモーグル競技、19 日にデュアルモーグル競技を行いました。選手たちは、スピード感あふれるターンやハイレベルのエアに果敢に挑み、観客からは大きな拍手と歓声が沸き上がっていました。

【農林商工部】

◇プレミアム商品券について

新型コロナウイルス感染症の影響による地域経済の低迷に対する消費の喚起や住民生活の支援を行うため発行した仙北市民プレミアム商品券は、2月 15 日で換金申請受付を終了し、商品券換金率 99.7 %、換金額2億 5,790 万 7 千円となっています。

◇「山の楽市」開催について

今年度2回目となる、地域の魅力ある商品を紹介する観光と物産展「山の楽市」が、東京都町田市の商業施設ぽっぽ町田を会場に、12月16日から18日までの3日間開催されました。

「山の楽市」には市内8事業者が出店し、直送した仙北市の味覚の数々を販売しました。売上額は、3日間合計で346万円であり、仙北市の物産の情報発信につながりました。

◇仙北市技能功労者表彰について

1月11日、角館庁舎を会場に仙北市技能功労者表彰を行いました。これは技能者の社会的・経済的地位及び技術水準の向上を図るとともに、本市産業発展に資することを目的に行われたもので、建築分野で藤村敏郎さん、建設分野で武蔵一美さん、つる たつかさ 鶴田司さんが受賞しました。

今後もそれぞれの分野において中核的な役割を担い、後継者育成にもご尽力をいただくことを期待しています。

◇誘致企業認定について

2月6日、株式会社リベンリの仙北市内への事業所設立に向けた協定を株式会社リベンリ、秋田県、仙北市の3者で締結し、同社に対して秋田県及び仙北市が誘致企業として認定しました。仙北市からは第1号の誘致企業認定書を交付しました。

株式会社リベンリは神奈川県藤沢市に本社を有するITスタートアップ企業で、仙北市にこれまで存在しない若者の定着が期待される業態の企業にお越しいただくこととなります。

同社の本市における事業展開は、今年5月に角館駅周辺に現地法人「株式会社リベンリ秋田」を設立する予定となっていて、今後の雇用創出が期待されます。

本件は本年度国の支援もいただいて実施したサテライトオフィス誘致促進事業の成果であります。来年度も開催したいと考えております。

◇インスペック株式会社の「第 9 回ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞」受賞について

1月10日、製造業に携わる優れた企業や技能者を政府が表彰する「ものづくり日本大賞」の製品・技術開発部門で、角館で創業している半導体外観検査装置メーカー、インスペック株式会社のフレキシブルプリント基板用「ロール to ロール型検査装置」が、経済産業大臣賞に選ばれました。

1月23日、ザ・プリンス パークタワー東京で開催された第9回「ものづくり日本大賞」経済産業大臣賞表彰式で、西村経済産業大臣より表彰状が授与されました。本賞の応募総数は、289 件で全国より 14 件選ばれ、今回東北圏ではインスペック株式会社のみとなっており、心からお祝い申し上げます。

【医療局】

◇発熱等風邪症状の対応について

今季のインフルエンザについては、市内小学校等で学年閉鎖になるなど、新型コロナと同時流行になっている状況です。これに伴い、角館総合病院及び田沢湖病院の発熱外来では、新型コロナとインフルエンザが同時に判定出来る検査方法で対応に当たっています。

新型コロナについては、政府から新たな感染対策の方針が示されましたが、引き続き病院等感染リスクの高い施設でのマスクの着用をお願いします。

◇地方公共団体の経営・財務マネジメント強化学業の実施について

医療局では、病院事業が直面する課題に対し、専門のアドバイザーの派遣を受ける「経営・財務マネジメント強化学業」を実施しました。この事業は、総務省と地方公共団体金融機構との共同事業として実施されるものです。

今後も、こうした事業を最大限活用し、課題の克服など、経営改善に取り組めます。